

Title	編集後記
Sub Title	
Author	田村, 次朗(Tamura, Jiro)
Publisher	慶應義塾大学大学院法学研究科
Publication year	2001
Jtitle	法學政治學論究 : 法律・政治・社会 (Hogaku seijigaku ronkyu : Journal of law and political studies). No.49 (2001. 6) ,p.380- 380
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10086101-00000049-0380

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

〔編集後記〕

一 今回、投稿された論文は一五点あったが、その内一〇点を掲載することにした。また、前回から掲載を予定されていた二点を加えて、掲載論文は一二点となった。

二 合格者に対して、送付している論究執筆者紹介欄に、生年月日の記入欄があるが、これは、論文の掲載順決定の際の基準とするための情報として、記入していただいている。しかし、この情報を、法学政治学論究に掲載する必要はないという委員長決定があったので、今後は略歴の欄に、生年は記載しないこととなった。

三 今回も、また残念なことに、定型外であったために、せっかくの論文が、審査の対象とならなかったケースが見られる。今後は、ぜひ投稿規定を遵守し、形式審査で落とされることのないように、お願いしたい。

四 以下、くり返しになるが、重要な伝達事項を記しておく。

五 定形通りに提出することは、制限字数との関係で、極めて重要である。制限字数は、あくまで定形に基づいてカウントされる。すなわち、「図および表は、一点あたり六〇〇字に換算する。注も字数に数える。字数は、あくまで三〇字×二〇行×五四枚とする。空白部分も換算されるので、実際の字数が下まわっていたとしても考慮しない。」

六 提出期限後の論文の修正は、すべて慶應義塾大学出版会の

方で行われるので、編集委員会事務局宛てへの修正、校正の追加的提出は、差し控えるようにお願いしたい。掲載予定の論文に関する校正は、一度行えるが、その段階で、最低限の修正のみ、加えるようにしていただきたい。

七 法学政治学論究への問い合わせが、e-mailで行われることがあるが、この形での問い合わせは、一切受け付けていない。郵送またはFAXにて、問い合わせをするようにしていただきたい。

(田村次朗・記)